

事業所名

放課後等デイサービス事業所きらり

支援プログラム

作成日

7年

1月

7日

法人（事業所）理念	きらりは、ひとりひとりの個性を大切にしたい。人間はみんな、きらりと光る個性を持っている。きらりに集うとき、誰でもがきらきら輝いて活動できるような場所にしたい。きらりは、誰もが悩んだとき、困った時、いつでも立ち寄れるように、きらりと光る暖かい灯（ともしび）のような場所になりたい。						
支援方針	<p>こころやからだに個性のある子供を対象に、普通にある日常の生活体験や野外活動、ものづくり活動などを通じて、コミュニケーションをはかりつつ、その子らしく伸びるようにお手伝いします。</p> <p>『みんなが、ひとりひとりの個性を大切に、だれでもがいろいろな活動を通じて、こころとこころがしっかりと通い合い、共につながり合えるようになりたい』と考えます。</p> <p>ひとりひとりの特性に合わせて支援をする中で、自立して取り組めることを増やしていきます。</p> <p>いろいろな遊びや活動を仲間と一緒に経験していく中で、自分の得意なことや、他者との関わり方を見つけられるような支援を行います。</p> <p>保護者の想いに寄り添い、子どもたちの成長と一緒に見守り、考えていきます。</p>						
営業時間	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事、排泄、着替え、身だしなみを整えるなど、自立してできるところを増やしていけるように支援します。 買い物体験や公共施設を利用する中で、お金の計算、お店や公共施設の利用の仕方など経験できるようにします。					
	運動・感覚	乗馬活動や外遊び、お仕事体験などを通して、体の使い方や動かし方を経験できるようにします。 いろいろな感触に触れて、好きな感触や落ち着く感触を探していきます。体を動かして活動する中で、リフレッシュできる方法を体験していきます。					
	認知・行動	スケジュールや手順書、動画、お手本などを見て、理解して、取り組むことができるようにします。 よくできたことを褒めたり、求められている行動を視覚的に伝えたりする中で、自分から行動できるようにしていきます。					
	言語 コミュニケーション	絵カードを使用したコミュニケーションや、筆談、あいうえおボードなど、ひとりひとりに適した、想いを伝えるための方法を一緒に探していきます。 他者へ想いを伝えてみることや、相手の想いを受け止めることを経験できるようにします。					
	人間関係 社会性	小グループで活動をする中で、他者と過ごす時にはどんなルールやマナーがあるのか知る機会を設けます。 他者と話し合いや、活動をしていく中で、相手の表情や状況などを視覚的に整理しながら、相手の想いに気づけるように支援します。					
家族支援	送迎の時や面談の時に、家庭や学校での様子を共有する中で、保護者の想いに寄り添い、関わり方を一緒に考えていきます。			移行支援	他の事業所へ移行の申し送りをを行います。		
地域支援・地域連携	図書館や公民館などの行事に参加しています。 他の事業所と子どもの様子や支援について共有して、連携を図っています。			職員の質の向上	子どもひとりひとりの特性や日々の様子をふりかえり、チームで支援を見直して、取り組んでいくことに努めています。発達障害や支援の向上に繋がる勉強会、研修会へ参加しています。		
主な行事等	きらっと乗馬会、きらっとはーと展、乗馬体験、馬のお世話、お仕事体験、外遊び、季節の調理、工作、買い物体験、夏祭り、水遊び、クリスマス会、大掃除、お正月あそび、初詣、市外へのお出かけ、避難訓練など						